

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数 11,878 名中受験者は 10,644 名で、合格者は 2,241 名でした。合格率は 21.05%、平均点は 46.27 点で、ともに前を下回りました。

最高点は 94 点で、山形早苗さん（中国銀行）、松本笑さん（北群馬信用金庫）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈預金〉の分野では〔問-10〕普通預金債権等の譲渡・質入れの 1 問、〈融資〉の分野では〔問-14〕連帯保証、〔問-15〕保証人の死亡が融資取引に与える影響、〔問-16〕信用保証協会の保証、〔問-20〕消滅時効の完成猶予・更新の 4 問、〈決済〉の分野では〔問-36〕公示催告・除権決定の 1 問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問-42〕貸金庫取引、〔問-44〕民法上の委任、〔問-50〕

出資法の 3 問で、計 9 問でした。

このうち〔問-42〕は、貸金庫の法的性質を問うものでした。賃貸借契約では借主の死亡を契約の終了事由としていないため、貸金庫規定では、借主について相続の開始があったときは、銀行は貸金庫契約を解約できるとしています（同規定 10 条 2 項 2 号）。銀行は、借主が死亡したときには、解約通知を出し、相続を確認のうえ、相続人全員が連署した依頼書により貸金庫を開庫し、相続人立会いのもとに格納品の取り出しを認めることになり、賃貸借契約が当然に終了するわけではありません。基本的な知識として、正確に理解しておくことが期待されます。

■法務4級

「法務4級」の成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数 2,478 名中受験者は 2,346 名で、合格

〔表-2〕法務3級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	170	3,032	74	1,054	3,761	790	1,480	561	4	0	42	910	11,878
応募比率	1.43	25.53	0.62	8.87	31.66	6.65	12.46	4.72	0.03	0.00	0.35	7.66	100.00
受験者数	145	2,750	62	900	3,423	708	1,370	494	3	0	36	753	10,644
受験率	85.29	90.70	83.78	85.39	91.01	89.62	92.57	88.06	75.00	0.00	85.71	82.75	89.61
合格者数	66	679	24	161	623	88	253	108	2	0	11	226	2,241
合格率	45.52	24.69	38.71	17.89	18.20	12.43	18.47	21.86	66.67	0.00	30.56	30.01	21.05
平均点	56.29	48.20	53.32	44.69	45.08	43.17	44.49	46.81	60.67	0.00	45.39	49.85	46.27
年齢	25.1	26.1	29.5	26.7	27.8	29.1	34.2	28.7	38.3	0.0	40.8	30.9	28.5
勤続年数	1.9	2.9	5.2	4.2	5.2	6.6	11.3	3.9	15.0	0.0	16.3	6.8	5.3

〔表-3〕法務4級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	77	0	278	1,189	315	463	45	0	0	0	110	2,478
応募比率	0.04	3.11	0.00	11.22	47.98	12.71	18.68	1.82	0.00	0.00	0.00	4.44	100.00
受験者数	0	74	0	261	1,128	300	443	45	0	0	0	95	2,346
受験率	0.00	96.10	0.00	93.88	94.87	95.24	95.68	100.00	0.00	0.00	0.00	86.36	94.67
合格者数	0	53	0	173	828	185	214	38	0	0	0	77	1,568
合格率	0.00	71.62	0.00	66.28	73.40	61.67	48.31	84.44	0.00	0.00	0.00	81.05	66.84
平均点	0.00	68.05	0.00	65.68	69.09	63.71	60.05	72.00	0.00	0.00	0.00	73.22	66.50
年齢	0.0	23.0	0.0	23.3	24.4	23.9	28.5	27.8	0.0	0.0	0.0	30.0	25.2
勤続年数	0.0	1.0	0.0	0.9	2.5	1.7	4.4	0.3	0.0	0.0	0.0	4.1	2.5

者は1,568名でした。合格率は66.84%、平均点は66.50点で、ともに前回は上回りました。

最高点は100点で、和田俊明さん(播州信用金庫)、長岡駿さん(但陽信用金庫)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、次のとおりです。

〈手形・小切手〉の分野では〔問-18〕白地手形の1問、〈融資〉の分野では〔問-32〕証書貸付契約の成立、〔問-40〕第三者の弁済の2問、〈内国為替〉の分野では〔問-43〕振込における仕向銀行の取扱いの1問で、計4問でした。

とくに正解率が低かった〔問-32〕は、証書貸付の法的性質について問うものでした。

証書貸付の法的性質は、金銭消費貸借契約であると解されており、その基本形は、①借主が貸主から金銭を借入れてその金銭を消費し、これと同額の金銭を貸主に返済するという借主と貸主との合意にもとづき、貸主が借主に金銭を交付したときに契約の効力が生ずるという形態であり、金銭の交付を成立要件とする要物契約です。ただし、②書面または電磁的記録とする金銭消費貸借契約は、貸主が借主に金銭を交付することを約し、借主がこれと同額の金銭を貸主に返済することを約すという内容の借主と貸主との合意のみによって契約の効力が生ずる諾成契約とされています。問題解説集等を活用して知識の見直しを図ってください。

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表-4〕のとおりです。

応募者6,168名中受験者は4,867名で、合格者は1,302名でした。合格率は26.75%、平均点は43.83点で、ともに前回は下回りました。

最高点は97点で、伊藤慎悟さん(千葉銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題-9〕株式評価額の算定(平均点:3.05点)でした。次に低かった問題は、〔問題-3〕減損会計(平均点:3.13点)でした。

〔問題-9〕は、ネットアセット・アプローチの代表的な手法である時価純資産法と、インカム・アプローチの代表的な手法であるDCF法に関する問題でした。過去にも出題されている問題でしたが、平均点は低調でした。

〔問題-3〕は、減損会計のうち、減損損失の認識の判定、減損損失の測定、開示の段階について解答する問題でした。本問は財務3級でも出題されている問題でしたが、平均点は低調でした。

一方で、〔問題-1〕修正仕訳と損益計算書の作成、〔問題-7〕損益分岐点分析と損益分岐点図表は、頻出問題ということもあり、よく解答できていました。

全体の傾向として、勘定科目欄や語群にない科目や語句を記載する誤り、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、設問の指示にある計算過程を明示しない、単位の表示の誤

〔表-4〕財務2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	162	2,424	87	394	1,639	80	101	6	27	0	5	1,243	6,168
応募比率	2.63	39.30	1.41	6.39	26.57	1.30	1.64	0.10	0.44	0.00	0.08	20.15	100.00
受験者数	140	1,959	63	328	1,366	71	90	5	19	0	5	821	4,867
受験率	86.42	80.82	72.41	83.25	83.34	88.75	89.11	83.33	70.37	0.00	100.00	66.05	78.91
合格者数	63	505	26	65	253	12	41	2	11	0	4	320	1,302
合格率	45.00	25.78	41.27	19.82	18.52	16.90	45.56	40.00	57.89	0.00	80.00	38.98	26.75
平均点	55.49	43.79	49.44	40.57	38.63	36.03	54.54	50.00	61.74	0.00	57.80	50.42	43.83
年齢	26.0	30.3	30.5	34.7	36.5	37.3	33.0	36.6	29.5	0.0	32.0	31.4	32.6
勤続年数	3.1	7.4	6.2	12.1	13.8	14.6	9.6	10.7	3.4	0.0	10.3	7.9	9.6

りといったミスが多く見受けられました。

学習する際には、過去問題の設問の指示にも留意してケアレスミスをすることなく解答できるよう、問題演習を行ってください。

■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数7,028名中受験者は6,168名で、合格者は1,763名でした。合格率は28.58%、平均点は48.15点で、ともに前回を下回りました。

最高点は98点で、吉岡俊輔さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問-1〕預貯金にかかる課税、〔問-3〕投資信託にかかる課税、〔問-11〕居住用不動産の譲渡にかかる特例、〔問-17〕所得控除、の4問、〈相続税・贈与税〉分野では〔問-23〕

税額控除と2割加算、〔問-24〕生前贈与加算、〔問-29〕未成年者控除、の3問、〈その他の税金〉分野では〔問-47〕消費税の課税の1問で、計8問でした。

〔問-23〕〔問-24〕はいずれも事例問題であり、与件に合わせて解答しなければなりません。しかし、論点そのものは難しいものではないので、基本知識を押さえて問題に臨めば正解を導くことができます。

過去問題で頻出の内容であっても、表現が異なると正解率が低くなるという傾向が全体的に見られました。選択肢の文章を暗記するのではなく、解説や参考書を用いて内容を理解することが重要です。

■ 証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。

〔表-5〕 税務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	48	2,006	55	567	2,058	337	982	76	81	29	36	753	7,028
応募比率	0.68	28.54	0.78	8.07	29.28	4.80	13.97	1.08	1.15	0.41	0.51	10.71	100.00
受験者数	43	1,771	44	472	1,866	291	895	66	61	27	30	602	6,168
受験率	89.58	88.29	80.00	83.25	90.67	86.35	91.14	86.84	75.31	93.10	83.33	79.95	87.76
合格者数	18	543	16	108	501	57	233	23	21	7	13	223	1,763
合格率	41.86	30.66	36.36	22.88	26.85	19.59	26.03	34.85	34.43	25.93	43.33	37.04	28.58
平均点	56.28	49.15	53.82	46.10	47.34	44.65	46.28	51.79	49.90	49.56	56.13	51.74	48.15
年齢	25.7	26.9	27.6	28.5	30.3	31.8	34.3	26.8	36.1	24.7	38.6	31.7	30.0
勤続年数	4.3	3.8	2.0	6.2	7.7	9.6	10.9	2.7	11.8	1.1	14.9	7.7	6.8

〔表-6〕 証券3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	64	231	32	33	71	10	89	3	11	19	0	169	732
応募比率	8.74	31.56	4.37	4.51	9.70	1.37	12.16	0.41	1.50	2.60	0.00	23.09	100.00
受験者数	58	206	27	27	63	9	87	2	8	18	0	133	638
受験率	90.63	89.18	84.38	81.82	88.73	90.00	97.75	66.67	72.73	94.74	0.00	78.70	87.16
合格者数	42	109	15	10	35	5	60	0	3	6	0	73	358
合格率	72.41	52.91	55.56	37.04	55.56	55.56	68.97	0.00	37.50	33.33	0.00	54.89	56.11
平均点	64.97	58.77	57.85	52.59	60.73	57.56	63.13	48.00	54.75	53.00	0.00	59.02	59.61
年齢	32.0	31.6	28.7	33.8	36.7	37.8	33.6	42.5	39.8	30.7	0.0	34.9	33.3
勤続年数	8.7	8.2	5.7	12.7	13.3	13.9	9.7	17.5	14.2	7.8	0.0	10.6	9.7

応募者数 732 名中受験者は 638 名で、合格者は 358 名でした。合格率は 56.11%、平均点は 59.61 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 88 点で、大川紗恵香さん（兵庫県信用農業協同組合連合会）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－12〕投資信託の分類、〔問－40〕債券現先取引・債券貸借取引、〔問－41〕企業の株式公開・資金調達、〔問－46〕金融商品に関する会計基準、〔問－49〕コーポレートガバナンス・コード、〔問－50〕会社法の 6 問でした。

解答状況を見ると、今回は、好成績の問題が多く平均点が高くなった一方で、頻出の内容であっても切り口を変えたり、異なる論点で問われた問題や法改正に関連する問題では正解にたどり着けなかった受験者が少なからずいたようです。また、例年難度が高い傾向にある問題や分野については今回も例年どおりの得点状況でした。

本種目の受験にあたっては、毎回問われている論点であっても切り口を変えて出題されることがありますので、正誤の判定ポイントとなる事項を十分に理解しておく必要があります。また、基本事項を理解することに加え、近年の制度改正や市場動向にも目を向けておくことが望まれます。

■ 外国為替 3 級

「外国為替 3 級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数 2,042 名中受験者は 1,758 名で、合格者は 793 名でした。合格率は 45.11%、平均点は 56.40 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 94 点で、植木隆史さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－4〕外国為替の与信リスク、〔問－5〕外国為替取引に係る米国の国内法や決済システム等、〔問－8〕インコタームズ® 2020、〔問－24〕本邦ローンの取扱い、〔問－27〕信用状発行銀行の書類の点検、〔問－41〕資本取引の事後報告等、〔問－42〕対内直接投資および特定取得の 7 問でした。

平均点・合格率ともに前回に比べるとやや低下しましたが、全体の平均点は高くなりました。しかしながら、上記の問題以外にも、過去の類似問題でも切り口を変えて出題された場合には、正解率が低下する傾向がみられました。外国為替業務の基本を理解したうえで、過去の出題された問題については、周辺知識を含めて学習することが大切です。

■ 預かり資産アドバイザー 2 級

「預かり資産アドバイザー 2 級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数 857 名中受験者は 737 名で、合格者は 309 名でした。合格率は 41.93%、平均点は 55.20 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 90 点で、中澤茉莉子さん（蒲郡信用金庫）、樋口哲郎さん（ゆうちょ銀行九州エリア

〔表－7〕 外国為替 3 級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	261	740	63	35	221	2	3	0	1	0	0	716	2,042
応募比率	12.78	36.24	3.09	1.71	10.82	0.10	0.15	0.00	0.05	0.00	0.00	35.06	100.00
受験者数	239	632	54	30	199	2	3	0	1	0	0	598	1,758
受験率	91.57	85.41	85.71	85.71	90.05	100.00	100.00	0.00	100.00	0.00	0.00	83.52	86.09
合格者数	138	247	24	11	72	1	0	0	1	0	0	299	793
合格率	57.74	39.08	44.44	36.67	36.18	50.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	50.00	45.11
平均点	59.85	54.67	57.48	55.13	53.38	49.00	25.33	0.00	78.00	0.00	0.00	57.95	56.40
年齢	25.4	30.3	32.4	31.8	38.1	43.5	50.7	0.0	45.0	0.0	0.0	27.6	29.7
勤続年数	2.4	7.5	8.4	9.7	15.4	0.0	30.0	0.0	21.0	0.0	0.0	3.8	6.5

本部) の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈業務知識〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕近時の国内株式市場の動向、〔問-12〕投資信託の運用スタイル、〔問-16〕投資信託の相続税評価の3問でした。

〈技能・応用〉において平均点が5点を下回った問題は、〔問題-28〕株式投資信託の分配金、〔問題-29〕個人向け国債の中途換金・債券の利回り計算、〔問題-30〕金融商品取引法・保険業法の3題でした。

〔問題-28〕は、決算日の収益分配金と基準価額をもとに、ファンドの普通分配金と元本払戻金(特別分配金)を算出する問題でしたが、過去の出題頻度が低かったため、対策が難しかったことと推察されます。

預かり資産アドバイザー2級においては、〈技能・応用〉で着実に得点することが合格の鍵となるため、専門用語の意味や各種商品の仕組みは、

通信講座での学習を通して理解を深め、説明できるようにしておくことが大切です。

■ 預かり資産アドバイザー3級

「預かり資産アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数2,064名中受験者は1,967名で、合格者は1,430名でした。合格率は72.70%、平均点は65.33点で、ともに前を上回りました。

最高点は98点で、石井佳菜さん(池田泉州銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-13〕個人向け国債の中途換金調整額、〔問-16〕定額個人年金保険、〔問-21〕日本の金融市場の分類の3問でした。

〈事例付四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-50〕外国債券の概要の1問でした。

〔表-8〕 預かり資産アドバイザー2級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信 金	信 組	信・ 連 農協	労 金	生・ 保 損保	証 券	郵 政	他 個 人	全 体
応募者数	4	525	1	70	80	2	34	44	0	3	1	93	857
応募比率	0.47	61.26	0.12	8.17	9.33	0.23	3.97	5.13	0.00	0.35	0.12	10.85	100.00
受験者数	3	454	1	60	73	2	32	38	0	3	1	70	737
受験率	75.00	86.48	100.00	85.71	91.25	100.00	94.12	86.36	0.00	100.00	100.00	75.27	86.00
合格者数	3	202	1	17	27	1	17	15	0	0	1	25	309
合格率	100.00	44.49	100.00	28.33	36.99	50.00	53.13	39.47	0.00	0.00	100.00	35.71	41.93
平均点	72.00	57.08	66.00	47.57	51.53	48.00	54.56	52.55	0.00	52.00	90.00	54.10	55.20
年齢	38.7	34.0	38.0	36.6	39.3	42.5	40.0	37.9	0.0	40.0	53.0	36.2	35.5
勤続年数	10.7	10.6	17.0	13.0	16.3	15.0	14.5	12.9	0.0	4.7	34.0	11.8	11.8

〔表-9〕 預かり資産アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信 金	信 組	信・ 連 農協	労 金	生・ 保 損保	証 券	郵 政	他 個 人	全 体
応募者数	10	770	0	66	512	35	286	118	3	11	19	234	2,064
応募比率	0.48	37.31	0.00	3.20	24.81	1.70	13.86	5.72	0.15	0.53	0.92	11.34	100.00
受験者数	9	734	0	66	484	34	276	114	3	11	19	217	1,967
受験率	90.00	95.32	0.00	100.00	94.53	97.14	96.50	96.61	100.00	100.00	100.00	92.74	95.30
合格者数	7	610	0	39	308	13	180	88	3	7	12	163	1,430
合格率	77.78	83.11	0.00	59.09	63.64	38.24	65.22	77.19	100.00	63.64	63.16	75.12	72.70
平均点	70.67	68.53	0.00	62.06	61.73	53.59	63.25	66.28	67.33	60.55	66.53	67.43	65.33
年齢	35.1	30.5	0.0	35.1	35.9	37.9	40.1	35.5	42.7	34.9	42.7	39.3	34.9
勤続年数	5.8	8.0	0.0	14.5	13.3	14.1	17.0	10.1	20.3	10.4	24.5	15.1	11.9

今回は、各機関が公表している調査・統計資料などから出題した問題の正解率が高く、多くの受験者が対策を講じたうえで受験に臨んだことと推察されます。問題解説集や通信講座での学習とあわせて、これらの調査・統計資料に日頃から目を通し、預かり資産の提案に必要な知識を身につけることが大切です。

■年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数5,826名中受験者は5,029名で、合格者は1,768名でした。合格率は35.16%、平均点は49.90点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、橋本絵美さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率30%以下の問題は、〔問-22〕公的年金と他の制度との支給調整、〔問-29〕最近の年金

法改正、〔問-30〕社会保障協定と脱退一時金、〔問-37〕65歳以後の在職老齢年金の4問と平均的によく得点されていました。

〔問-22〕は、新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問-29〕は、前回出題をしたものを別の視点から問うたもので、難度の高い問題でした。

〔問-30〕は、このところ出題をしてこなかったテーマで、受験者にとっては新テーマと同等に難度の高い問題であったといえます。

〔問-37〕は、4つの文章の中から正しいものの数を選ぶ問題で、毎回、正解率の低い難度の高い問題でした。

■相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-11〕のとおりです。

応募者数4,454名中受験者は4,037名で、合格

〔表-10〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地銀	信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	8	247	4	52	746	258	839	42	71	3	1,199	2,357	5,826
応募比率	0.14	4.24	0.07	0.89	12.80	4.43	14.40	0.72	1.22	0.05	20.58	40.46	100.00
受験者数	6	207	3	49	695	231	772	36	52	3	1,099	1,876	5,029
受験率	75.00	83.81	75.00	94.23	93.16	89.53	92.01	85.71	73.24	100.00	91.66	79.59	86.32
合格者数	4	50	1	11	125	26	111	9	10	0	364	1,057	1,768
合格率	66.67	24.15	33.33	22.45	17.99	11.26	14.38	25.00	19.23	0.00	33.12	56.34	35.16
平均点	58.00	44.39	52.67	42.41	41.96	38.68	38.70	46.72	45.62	44.67	48.42	60.67	49.90
年齢	47.5	34.5	35.0	31.0	34.8	33.3	33.6	37.6	39.3	44.7	38.7	43.4	38.6
勤続年数	17.8	11.1	13.0	7.8	11.9	11.7	10.7	11.3	12.9	10.0	15.2	15.9	13.5

〔表-11〕相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地銀	信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	23	670	3	78	506	170	1,154	28	10	4	919	889	4,454
応募比率	0.52	15.04	0.07	1.75	11.36	3.82	25.91	0.63	0.22	0.09	20.63	19.96	100.00
受験者数	20	582	2	63	463	155	1,096	25	8	4	868	751	4,037
受験率	86.96	86.87	66.67	80.77	91.50	91.18	94.97	89.29	80.00	100.00	94.45	84.48	90.64
合格者数	5	241	0	20	173	34	338	11	6	0	402	322	1,552
合格率	25.00	41.41	0.00	31.75	37.37	21.94	30.84	44.00	75.00	0.00	46.31	42.88	38.44
平均点	51.00	53.86	56.00	50.67	52.13	47.34	48.64	56.00	66.50	47.50	55.71	54.43	52.47
年齢	44.8	36.1	46.5	35.6	40.2	40.5	36.2	36.8	49.3	41.5	42.0	43.2	39.4
勤続年数	20.3	12.3	24.5	14.4	17.1	18.7	13.1	11.1	22.8	10.0	18.5	17.4	15.6

者は1,552名でした。合格率は38.44%、平均点は52.47点で、ともに前を下回りました。

最高点は94点で、玉那覇盛久さん（沖縄県農業協同組合）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－13〕土地の相続税評価、〔問－14〕小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例、〔問－28〕当座勘定取引先の死亡、〔問－38〕非上場企業のオーナー経営者の相続対策と事業承継、〔問－39〕任意後見制度、〔問－42〕特別受益額の計算、〔問－47〕相続税の課税遺産総額の計算の7問でした。

過去問で頻出の問題や論点については、問題解説集や参考書により十分学習していたことがうかがわれましたが、税制に関する出題について苦手とする受験者が多いように見受けられました。相続税、贈与税については、税額計算の手順を流れて把握しておくことや速算表の使い方を理解しておくことが重要です。

受験に際しては、問題解説集だけでなく、基本書となる参考書・通信講座等を副読本としながら、改正点を含め、知識を深めるとともに、過去問で取り上げられている論点については正確に把握しておくことが望まれます。

■ 保険販売3級

「保険販売3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数793名中受験者は736名で、合格者は

341名でした。合格率は46.33%、平均点は56.30点で、ともに前を上回りました。

最高点は86点で、馬渡礼奈さん（横浜銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－18〕支払査定時照会制度、〔問－19〕生命保険契約照会制度、〔問－22〕保険料の払込が困難になった場合の対応、〔問－23〕法人契約の養老保険、〔問－27〕火災保険の契約終了、〔問－35〕損害保険契約の重複保険、〔問－44〕取引時確認の7問でした。

〔問－18〕〔問－19〕〔問－35〕〔問－44〕は、新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問－22〕は、過去に出題したときには、あまり正解率が低い出題テーマではなかったため、意外な結果となりました。

〔問－23〕は、過去に出題した類似問題でも正解率が低く、難度の高い問題であったといえます。

〔問－27〕は、過去に出題したときも正解率が低く、難度の高い問題であったといえます。

■ 営業者マネジメントI

「営業者マネジメントI」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数1,113名中受験者は978名で、合格者は229名でした。合格率は23.42%、平均点は54.04点で、ともに前を下回りました。

〔表－12〕 保険販売3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	2	543	0	31	70	2	38	2	3	0	3	99	793
応募比率	0.25	68.47	0.00	3.91	8.83	0.25	4.79	0.25	0.38	0.00	0.38	12.48	100.00
受験者数	2	508	0	29	67	2	36	2	3	0	3	84	736
受 験 率	100.00	93.55	0.00	93.55	95.71	100.00	94.74	100.00	100.00	0.00	100.00	84.85	92.81
合格者数	1	257	0	14	28	2	12	1	1	0	3	22	341
合 格 率	50.00	50.59	0.00	48.28	41.79	100.00	33.33	50.00	33.33	0.00	100.00	26.19	46.33
平均点	52.00	57.67	0.00	58.69	52.72	70.00	50.28	58.00	62.67	0.00	72.00	51.64	56.30
年 齢	29.5	32.1	0.0	35.3	34.8	51.5	37.4	44.5	52.3	0.0	43.0	38.6	33.7
勤続年数	6.5	8.9	0.0	13.4	12.1	19.5	14.8	16.0	22.0	0.0	16.0	12.2	10.2

最高点は75点で、尾田貴史さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

10題中、平均点が5点を下回ったのは、<経営管理>の分野で出題した〔問題-2〕支店の経営管理、<労務管理>の分野で出題した〔問題-4〕ワークライフバランスの推進、<営業推進>の分野で出題した〔問題-7〕中小企業の事業承継、<経営関連一般常識>の分野で出題した〔問題-9〕地方創生の4題でした。

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、通常の業務や近時の関連情報等に即した出題となっています。また、営業店におけるマネジメントに関する知識のほかにも営業推進に関する知識も広範に問われます。日頃の社会的な動きを注視しつつ、制度改革などの情報を収集しながら、マネジメントや営業推進に応用できるよう、当試験をご活用ください。

■営業店マネジメントⅡ

「営業店マネジメントⅡ」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数1,623名中受験者は1,470名で、合格者は812名でした。合格率は55.24%、平均点は59.92点で、ともに前回は上回りました。

最高点は82点で、相星直貴さん(中国銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択択一式と記述式で構成されています。

四択択一式で正解率が30%以下となった問題は<業務のマネジメント>の分野の〔問-23〕休眠預金等活用法、<一般常識>の分野の〔問-37〕新型コロナウイルス感染症特則、の2問でした。また、記述式で平均点が5点を下回ったのは、<業務のマネジメント>の分野で出題した〔問-44〕タイムマネジメントの1題でした。

本種目はマネジメントにおいて初級管理者が抱

〔表-13〕営業店マネジメントⅠ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	26	541	1	127	140	19	8	49	0	0	0	202	1,113
応募比率	2.34	48.61	0.09	11.41	12.58	1.71	0.72	4.40	0.00	0.00	0.00	18.15	100.00
受験者数	25	481	1	111	125	17	5	44	0	0	0	169	978
受験率	96.15	88.91	100.00	87.40	89.29	89.47	62.50	89.80	0.00	0.00	0.00	83.66	87.87
合格者数	10	133	0	11	23	4	0	11	0	0	0	37	229
合格率	40.00	27.65	0.00	9.91	18.40	23.53	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	21.89	23.42
平均点	58.84	54.72	53.00	52.34	52.33	51.24	44.60	55.61	0.00	0.00	0.00	53.95	54.04
年齢	39.6	41.4	46.0	42.1	43.3	44.6	44.0	41.5	0.0	0.0	0.0	41.5	41.8
勤続年数	16.1	18.0	16.0	18.9	20.6	21.2	18.6	18.4	0.0	0.0	0.0	16.7	18.3

〔表-14〕営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	18	470	0	172	416	77	73	259	0	0	2	136	1,623
応募比率	1.11	28.96	0.00	10.60	25.63	4.74	4.50	15.96	0.00	0.00	0.12	8.38	100.00
受験者数	17	425	0	161	378	67	70	234	0	0	2	116	1,470
受験率	94.44	90.43	0.00	93.60	90.87	87.01	95.89	90.35	0.00	0.00	100.00	85.29	90.57
合格者数	16	282	0	78	222	26	18	102	0	0	1	67	812
合格率	94.12	66.35	0.00	48.45	58.73	38.81	25.71	43.59	0.00	0.00	50.00	57.76	55.24
平均点	67.24	62.28	0.00	59.17	60.18	56.75	51.93	57.71	0.00	0.00	61.00	61.45	59.92
年齢	38.6	38.1	0.0	38.7	38.3	44.1	45.9	38.5	0.0	0.0	40.5	36.8	38.8
勤続年数	13.6	14.4	0.0	15.6	15.2	20.5	22.6	14.8	0.0	0.0	20.0	12.7	15.2

える課題に幅広く対応するため、出題範囲が多岐にわたっています。本種目の学習を通じて得意または不得意分野を再確認し、必要な知識の見直しをすることにより、マネジメントの実践に役立ててください。

■ 事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数1,005名中受験者は875名で、合格者は489名でした。合格率は55.89%、平均点は60.21点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、北谷嘉朗さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-13〕

日本政策金融公庫、〔問-19〕生前贈与の税務、〔問-32〕事業再生の手法、〔問-33〕個人版事業承継税制、〔問-46〕キャッシュフローの5問でした。

制度や仕組み、税務等の問題では若干低調な正解率も散見されましたが、今回から択一式のみの出題（事例付を含む）となったこともあってか、全体としてはとても良好な結果となりました。

本種目の出題範囲は、事業承継やM&Aにかかる法務・税務の基本知識に加えて、取引先の現状把握・分析、融資手法、各工程のアドバイス、公的支援の概要など、幅広く実務的な内容を多く含んでいます。今後も、多様なテーマに対応できるよう、広範な学習が望まれます。

〔表-15〕 事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	12	417	1	66	315	80	14	1	2	0	0	97	1,005
応募比率	1.19	41.49	0.10	6.57	31.34	7.96	1.39	0.10	0.20	0.00	0.00	9.65	100.00
受験者数	12	359	1	51	281	76	13	1	1	0	0	80	875
受験率	100.00	86.09	100.00	77.27	89.21	95.00	92.86	100.00	50.00	0.00	0.00	82.47	87.06
合格者数	7	239	0	25	125	32	9	1	1	0	0	50	489
合格率	58.33	66.57	0.00	49.02	44.48	42.11	69.23	100.00	100.00	0.00	0.00	62.50	55.89
平均点	61.83	62.51	54.00	59.41	57.54	54.84	63.23	62.00	76.00	0.00	0.00	64.05	60.21
年齢	46.1	34.8	54.0	36.9	39.2	42.6	36.6	34.0	59.0	0.0	0.0	40.5	37.7
勤続年数	0.0	9.2	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7